

## 第2回戦術委員会確認事項

2012年1月23日  
全日本金属産業労働組合協議会  
(IMF-JC)

金属労協(IMF-JC)は、本日10時より開催した第2回戦術委員会において、2012年闘争の進め方を以下のとおり確認した。

1. 各産別は、現在、順次中央委員会を開催し、産別としての闘争方針を決定しつつある。今後、単組段階における要求決定を経て、集計登録組合を中心に2月22日(水)までに要求提出を行い、ただちに交渉を開始する。
2. わが国経済は、超円高・デフレの継続や海外経済の減速等により、依然として厳しい状況にあるなかで、先行き不安が強まっている。金属産業では、電力供給不安に加え、電力料金の引き上げが提案されるなど、国内産業空洞化を阻止するためのまさに正念場に立たされている。  
日本の金属産業の強みは、長期安定雇用によって蓄積された技術・技能に裏づけられた現場力である。この強みをさらに強化するため、雇用の維持・確保を大前提に、賃金構造維持分の確保等による賃金・労働条件の下支えの徹底と、必要な賃金改善を求める等、「人への投資」を求めていく。このことこそが、産業・企業の健全な成長の礎である。  
なお、1月24日に発表予定の経団連「経営労働政策委員会報告」に対して、同日、金属労協としての見解を発表する。
3. 金属労協は、連合金属共闘連絡会議との連携の下、3月14日の集中回答日に向けた主要日程を設定し、金属労協の総力を結集して闘争を推進する。
4. 第3回戦術委員会は、2月22日(水)午前10時より開催する。

以上

## 2012年闘争の当面の日程

2012年	(1月	23日	(月)	12:00	連合金属共闘連絡会議代表者会議)
		23日	(月)	15:30	第2回中央闘争委員会
		24日	(火)	13:00	2012年闘争推進集会
		25日	(水)	13:00	2012年度最低賃金連絡会議
2月	16日	(木)	15:30	第17回書記長会議	
	22日	(水)	10:00	第3回戦術委員会	
	22日	(水)	15:30	第3回中央闘争委員会	
	集計登録組合を中心に、2月22日までに要求提出				
3月	14日	(水)	集中回答日		
	14日	(水)	11:00	戦術委員会、記者会見	
	14日	(水)	15:30	第4回中央闘争委員会	
	28日	(水)	15:30	第18回書記長会議	

以 上